

吉野の桜 サンマリノで咲かす

吉野町 苗木の植樹計画



吉野山を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」は2004年に世界遺産に登録。サンマリノ共和国は中世の要塞や教会が有名な観光地で、08年にはサンマリノ市の旧市街地を含む「サンマリノの歴史地区とティター

文化交流都市へ

吉野山の桜で知られる奈良県吉野町が、イタリア半島中部にあるサンマリノ共和国の首都・サンマリノ市と、世界遺産や桜を縁にした文化交流都市協定の締結準備を進めている。吉野町は今年秋にも、現地で吉野桜の苗木を植樹する計画だ。

ノ山」が登録された。

サンマリノ市は、人口約4000人で吉野町の半分ほど。桜の植樹を続けている日本の市民団体から昨年4月に苗木100本を贈られたのを機に、桜を名所にした公園整備を進めている。

これを知った吉野町が互いに世界遺産があり、桜を介した交流も期待できることから協定締結に乗り出した。吉野桜保護のためにCDの売り上げの一部を町に寄付している和楽器演奏グループを、昨年11月に現地で行われた文化交流レセプションに観光特別大使として派遣。今春、駐日大使を吉野桜の花見に招待することを計画している。

北岡篤町長は「桜を通じて日本の文化を伝え、子どもたちも交流させたい」と話し、サンマリノ共和国側も「文化と観光で協力関係を築き、多くの人々が、ともに世界遺産のある吉野町とサンマリノを歩き来ることができるようにしたい」としているという。